

「イネとサツマイモの収かく」

郡山市立永盛小学校 六年 松本 薫

今日は、楽しみにしていた、イネとサツマイモの収かく日でした。イネも、今年はスズメに食べられていないかとか、サツマイモは1回目ほって見たときよりも、どのくらい大きくなっているかがとくに楽しみでした。

～イネ～

私達は、『ヒトメボレ』『コシヒカリ』『赤米』の3種類を育てました。でも私は、『赤米』でした。最初育てるときは、『どんなお米がなるんだろう。赤いお米がなるのかな?』とか思ってワクワクしていました。夏休みの時も、早く『ほ』が出ないかなあとか私だけ『ほ』が出ていなかったらどうしようとか不安になったときもありました。でも『ほ』もたくさん出ていて草たけも長かったので安心しました。今日、イネを収かくしてみると、種類ごとでもけっこうポウル1ばいぐらい収かくできました。小さいなえから『ほ』がつくまで自分達で育てたんだと思うと、小さなことでも、すごくうれしく思えます。

～サツマイモ～

2組の女子は『ベニコマチ』を育てました。最初は、くきに根っこがはえていて小さい葉っぱが数えるぐらいの枚数でどんなふうになっていくんだろうと、すごく不思議に思っていました。でも、観察しているうちにつるものびてきて葉っぱの枚数も増えてきて、すごくワクワクしてきました。1回目にほって見たときよりも大きくなっているか、今日ほって見ると、前よりも、びっくりすりほど大きくなっていて太くもなっていました。でも、1組の人たちが育てた『ベニアズマ』や『コガネセンガン』の大きさにはなりません。2組が育てたサツマイモは1組のイモよりは小さかったけど、みんなでほったのはすごく楽しかったです。土をほっていてイモを発見したときはすごくうれしくてどのくらい大きいのか早くみたくて急いでほってしまいました。でも、土がかたくて石がたくさんあっていろんな形をしたサツマイモもでてきました。みんなで協力して育てたのでいっぱいイモが収かくできました。よかったです。

「米のなえ植え」

郡山市立行健小学校 五年 石井 香吏

今日、社会科の学習で米のなえを植えました。なえは、農業試験場の人たちが持ってきてくれました。

まず、米のなえを植えるために、ポットとふくろをもらいました。ポットにふくろをごみぶくろのように入れ、その中に、土をたくさん入れました。農業試験場の人たちが、

「もう少し入れた方がいいよ」

など、おしえてくれたので、土の入れる量がよくわかりました。その土の中に、こんどはひりょうを入れました。それを手で、ふくろの外からまぜてやり、ポットに土を入れました。そこに水を入れてやり、手で表面の部分だけまぜました。ずっとやっているとうちがどろどろになり、すごくやわらかくなりました。手がどろどろになってしまったので、ちょっとたい変だったです。それから、かみコップにたくさんのなえをもらいました。私はなえを見ると、早く植えたいなと、ワクワクしてきました。なえを植える前に、指であなをあけるように言われたけれど、水をはじめにいっぱいやりすぎて、なかなかあながあきませんでした。やっとであけたあなに、なえを私は5本植えました。そこに水をたくさんやりました。そして最後に農業試験場の人たちの話を聞いて終わりました。

私は、農業試験場の人たちにももらった米のなえを一生けんめい育てて、たくさんの米をとりたいとおもいます。